

SDGs 委員会 8 月活動報告書

活動名

ペットボトルキャップの寄付

活動の経緯と目的

SDGs 目標 3（全ての人に健康と福祉を）への取り組みとして、公益社団法人平塚法人会を通じ NPO 法人 Re ライフスタイルにペットボトルキャップを寄付致しました。

今年の夏も厳しい暑さでした。

今年も従業員の熱中症対策として水分補給を励行する中で、飲み終わると廃棄になる空ペットボトルを SDGs に生かすことを目的に活動いたしました。

空ペットボトルの本体は、適正処理されることで衣料品や新しいペットボトルにリサイクルされます。

分別の際に廃棄されてしまうことが多いペットボトルキャップも、正しく分別し、協力団体に提出することで、世界の子供たちにワクチンとして届けることができます。

（協力会社がりサイクル資源として販売し、その売上利益が J C V（世界の子供たちにワクチンを日本委員会）とユニセフを通じ世界の子供たちへのワクチンや医療器具や輸送費に充てられています。）

SDGs 委員会では SDGs 目標 3「全ての人に健康と福祉を」を達成するために、社内の熱中症対策だけでなく、世界中の子供たちの健康に少しでも寄与したいと考えています。

参加者

全員

活動内容

- ① 従業員の熱中症対策としてこまめな水分補給を励行する。
→水分補給のタイミングを本人に任せるだけでなく、従業員同士で声掛けしあうことで熱中症の予防に努めました。
- ② ペットボトルの正しい分別に努める。
→会社の所在地である平塚市の分別方法を遵守し、限りある資源の有効活用に努めました。
- ③ ペットボトルキャップの寄付。
→社内に出るペットボトルキャップを収集し、公益社団法人平塚法人会を通じて NPO 法人 Re ライフスタイルに寄付致しました。

ペットボトルキャップ収集期間 令和5年9月～令和6年8月

活動の成果

① 熱中症対策の成果

→従業員同士で声を掛け合う事で、水分補給しやすい環境ができ、相乗効果としてコミュニケーションの増加にもつながったと考えます。

来年以降も厳しい暑さが予想されますので、今後も水分補給だけでなくしっかり休憩をとる事や、ヤード内の動線等を整備し風が抜けて気温が下がる工夫をするなど、SDGs 委員会として従業員の健康に留意していきたいと思えます。

② ペットボトルの分別

→社内に出るペットボトルは協力会社に依頼し、再生資源として回収していただいています。

(現在も継続中)

③ ペットボトルキャップの寄付

→今年度は昨年に比べ 3kg 増加し、10kg のキャップを寄付できました。昨年からの従業員に対する声掛けを続け、意識づけを図った結果だと思えます。今年度も平塚法人会より感謝状をいただきました。

感想と今後について

2030 年の SDGs 目標達成に向け、従業員全員で活動をしていきたいと思えます。ペットボトルキャップについては、従業員の家庭で出るものや、お客様や地域工業会の皆様にも活動内容を周知し、募ることで数量を増やすことが可能だと思えます。来年もまた寄付ができるよう、内外に対する積極的な声掛けを続けていくと同時に、パートナーシップの構築を図っていきたいと思えます。